

## 模型で築く患者さんとのコミュニケーション “デンタルモデル P3D-801”

Aki IMURA

井村亜聖 兵庫県・たるみ歯科クリニック／歯科衛生士

私は平成15年3月に歯科衛生士学校を卒業し、開院直前のたるみ歯科クリニックに就職しました。そして今年で6年目となり、後輩の歯科衛生士たちも増えてきました。当院では、来院される方々が生涯にわたってむし歯と歯周病を予防できるように、定期健診を重視した診療システムを取り入れています。定期健診は患者さんのお口の状態とご希望にあわせて、3ヵ月～1年に1回のペースで、歯科衛生士が自分の担当の患者さんを個室のケアゾーンで診ています。

### 難しい歯磨き指導

歯科衛生士の仕事には、知識や技術のみならず、笑顔をはじめとする立ち居振る舞いやコミュニケーション能力など、さまざまな能力の向上が求められます。そして、これらすべてが患者さんの安心感につながると思います。私たち歯科衛生士は、ミーティングや勉強会を毎週行い、自分たちが少しでも成長できるよう努力しています。

そのなかで、スケーリングやルート・プレーニングは経験と練習で自分なりにスキルアップしていくことができると思いますが、とくに難しさを感じているのが歯磨き指導です。歯磨き指導は、私たちが一方的に話すのではなく、患者さんの心に伝わらないと、患者さんが自発的によい方向に動いてくれないからです。

新人のころは、知識もコミュニケーション能力も口腔内を診る目もなく、どのように歯磨き指導をしたらよいのかわからず、すべての患者さんに、「基本的な磨き方」しか指導できませんでした。いま振り返って考えてみると、それは「歯磨き指導」をしたのではなく、ただ単に「正しい磨き方」を話ただけで、その患者さんのお口に合わせた指導ではありませんでした。

現在では、口腔内をよく診て、患者さんの思いや生活習慣を聴きとり、それぞれの患者さんに合わせた予防法を一緒に考え、わかりやすく伝えるよう心掛けています。また、患者さんが無理せず、自宅での歯磨きや当院での定期健診を楽しみながら続けてもらえるよう気を配っています。

### 模型に触れながら歯磨き指導

当院では、むし歯や歯周病の原因をコンピュータの動画ソフトを用いて説明していますが、画面だけでは伝わりにくい部分は、模型を使って患者さんにお話しするようにしています。その際、私が使用しているのが、ニッシンのデンタルモデル「P3D-801」です。

この模型には、前歯部の叢生や半萌出の親知らず、ブリッジやインプラントなどの補綴物、歯頸部の楔状欠損（WSD）などがリアルに表現されています。患者さんに模型を触ってもらいながら



図① 「P3D-801」を使った歯磨き指導

説明すると、「私の口はこんな感じなのよねえ」とか「そうそう！ ここが磨きにくいよ」と、とても反応がよいのです。興味をもっていただけると話に入りやすく、術者と患者という関係ではなく友人感覚で指導を進められます（図①）。

歯磨き指導としては、模型で再現されている叢生や半萌出部分に実際に歯ブラシを当ててもらい、ブラシの当て方や動かし方、必要があればフロスやタフトブラシの使用法や特徴も説明しています。WSD 部分には、ブラッシング時の注意点や歯ブラシ圧の力加減を確認してもらいます。

また、この模型はブリッジやインプラントの補綴部分が透明になっているので、歯間ブラシの通し方やブラシの当て方の説明の際、患者さんも目で確認でき、術者側も説明しやすいと思います。患者さんが磨きにくく、どうしてもうまく磨けないと感じる部分に対して、鏡を使って口腔内を見てもらいながらの指導や、コンピュータの動画を見てもうよりも、口腔内をリアルに再現したこの模型を使うほうが理解してもらいやすく、伝わりやすいと思います。

### オススメ指導法

私がオススメする指導法は、ニッシンの人工プラークを模型の歯牙につけ、患者さんに歯ブラシを当ててもらいやり方です（図②）。ブラシの当て方によるプラークの取れ方の違いを確認することができ、より興味をもってもらえます（図③）。



図② 「P3D-801」に人工プラークをつけて説明すると効果的



図③ 歯ブラシの当て方によるプラークの取れ方の違いがよくわかる

また、この方法は患者さんへの指導だけではなく、新人歯科衛生士がいろいろなブラシの特徴を覚え、ブラッシングの練習を行うことにも応用できます。しかも、人工プラークは簡単に除去できるので、何回でも使うことができます。

●  
歯科衛生士として仕事をするなかで、人に伝えて理解してもらうことの難しさを感じていますが、患者さんにアドバイスしたことを「こうすればいいのか!」、「すごくやりやすくなったわ」などと実感してもらい、それが日常生活に取り入れられ、次回来院時に歯肉の状態が改善し、苦手だったところがキレイに磨けていれば、心の底から嬉しく思います。こうした瞬間は、私自身のモチベーションアップにもなり、歯科衛生士としてスキルアップできたように感じることができます。

自分の知識や技術を日々磨いていくうえでも、モチベーションを上げていくうえでも、「P3D-801」はとても役立つ助っ人だと思います。